

平成23年度事務事業評価表(平成22年度振り返り)

政策名		水と緑を守り育てていくまち		施策番号・名		06 環境への負荷を低減する生活・活動の促進		基本事業番号・名		06-02		地域における環境学習の推進							
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (24年度に向けた方向性等)	
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	特定財源に伴う一般財源 事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	一般財源 事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		
06-02-01	環境政策課 生活環境担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 ・(市) 環境基本条例 ・(市) 環境基本計画	対象 市民、事業者 市内環境団体、市内小・中学校  手段 ・実行委員会による環境フェスティバルの計画、実施 ・市民等に対する広報活動 ・環境団体、小・中学校、事業者による環境に関するパネル展ほか	市民人口	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 4 達成度 4 効率性 2 説明欄: 参加型・体験型のイベントとして来場者は倍増。市内最大規模の環境イベントに成長。来場者アンケート結果からも環境学習の提供の場として成果の向上が伺える。実行委員会形式の事業で市の関わりを軽減しているが、開催期間中は複数の職員が対応せざるを得ない状況がある。	平成22年度	説明欄:	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:		
	環境フェスティバル 開催事業				114,807 (人)	1,919 (人)	100 (%)	205	3,662	3,867	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度		205	必要性 3 有効性 4 達成度 4 効率性 2
	財源				114,717 (人)	1,081 (人)	100 (%)	310	3,729	4,039	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度		310	説明欄: 参加型・体験型のイベントとして来場者は倍増。市内最大規模の環境イベントに成長。来場者アンケート結果からも環境学習の提供の場として成果の向上が伺える。実行委員会形式の事業で市の関わりを軽減しているが、開催期間中は複数の職員が対応せざるを得ない状況がある。
	上乗				114,418 (人)	924 (人)	100 (%)	397	7,332	7,729	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度		397	
	事業形態																		
06-02-02	環境政策課 政策調整担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 ・(市) 環境基本条例 ・(市) 環境基本計画	対象 市民・事業者・都内区市  手段・内容 市で行った水質調査等の環境調査結果及び環境基本計画の進捗状況の小冊子による提示	市民人口	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄: 昭和50年度から「東久留米の公害」(後に「かんきょう東久留米」と改題) 継続的に発刊しているものである。平成19年度より冊子印刷を極力控え、ホームページに掲載することにより市民に周知を図っている。大幅な削減は難しいが、ホームページの活用及び内容の充実にも努めていく。	平成22年度	説明欄:	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持	説明欄:		
	「かんきょう東久留米」作成事業				114,807 (人)	72 (人)	0.06 (%)	6	4,954	4,960	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度		6	必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3
					114,717 (人)	66 (人)	0.05 (%)	3	5,046	5,049	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度		3	説明欄: 昭和50年度から「東久留米の公害」(後に「かんきょう東久留米」と改題) 継続的に発刊しているものである。平成19年度より冊子印刷を極力控え、ホームページに掲載することにより市民に周知を図っている。大幅な削減は難しいが、ホームページの活用及び内容の充実にも努めていく。
					114,418 (人)	53 (人)	0.05 (%)	21	6,265	6,286	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度		21	